



プレーパーク レポート

第4号

2022年7月
小鹿野町



スライディング
プール！
気持ち良い！！

6月の真夏日を水遊びで乗り切って楽しみました！

6月26日に開催した「シャボン玉で遊ぼう」は、6月後半の異例の猛暑期間の最中でした。急遽、水遊びを楽しめる環境づくりも織り交ぜての開催となりました。

まずはじめに散水チューブを水道から延ばし、村のひろばにある大きなケヤキに紐で括り付けます。散水チューブから出るミストで涼を感じられる楽しい場所をつくりました。

その後、ミストの下に大きなシートを敷くと、溜まった水がプールのように気持ち良く、子どもはもちろん大人たちも涼みに集いました。

また、手づくりのシャボン液を子どもたちと配合、青空の下でキレイなシャボン玉がたくさんとんでいきました。

みなさんもぜひ一緒に楽しい遊び場をつくりましょう！



令和4年度スケジュール

8月28日	9月25日	10月23日	11月27日	1月29日	2月26日	3月5日
夏の外遊びを楽しもう	木で遊ぼう	段ボールで遊ぼう	落ち葉で遊ぼう	昔遊びを楽しもう	冬の外遊びを楽しもう	ロープで遊ぼう

遊びの様子

ミストの下に敷いた大きなオレンジのシート、ひろばの芝地はゆるやかに傾斜していました。さすが子どもたちは遊びのプロフェッショナル！シートの傾斜に気付くと目掛けて滑る遊びをはじめました。

コツがつかめずなかなか滑らない様子でしたが、少しずつコツをつかんでザバーっと水しぶきをあげながら豪快に滑れる子どもが出てきました。

また、水をシートの中央に溜めると滑りやすいことを発見した子どもたちは、水道からコンテナに水を溜めてせっせと運んでいました。



そういった姿を見て、他の子どもたちも模倣しながら滑り方が上達したり、水運びを手伝ったりと伝播していく光景がとてもステキでした。はじめからうまくできなくても、自分たちでどんどん学んでいけるのが遊びの良いところですね。

シャボン玉遊びは液の配合、吹き具となるウチワの加工なども子どもたちや親と一緒に進めました。自分たちでつくった道具で遊べる体験は格別です。

木工作のシートの上でも試行錯誤の子ども姿が見られました。はじめは「うまくできない」と自信なさげに大人に頼っていた女子も、少しの成功体験を積み重ねて自分なりに納得できる物を作り上げていました。



スライディングプールで大はしゃぎの子どもたちを横目に、ウロウロしている小学生の男の子がいました。「濡れたくない！」彼が躊躇している理由はシンプルなものでした。

ミストに濡れたり、スライディングプールで遊ぶ子どもたちに声をかけたりする様子から遊んでみたいという興味は感じ取ることはできましたが、彼自身の気持ちに何かのブレーキがかかっている状態でした。

プレーリーダーや親御さん、周囲の大人たちが「濡れたってすぐ乾くよ！」「着替えもあるよ！」という声掛けの後押しもあり、彼は一步を踏み出しました。その後は長い時間滑りっぱなしで誰よりも楽しむ男の子の姿がありました。



ハイライト

「子どもが遊ぶ」ということは、自然なことでありながらも、現代に暮らす子どもは育つ過程で心にブレーキをかけるようになってしまいます。それは社会や大人の言動、そして空気感などに影響を受けています。

子どもが心の底から楽しいと感じて遊び込むためには、まず私たち大人たちの遊び心が解放していることが重要です。

小鹿野の大人たちもたくさん遊びましょう！！

